

頭を寄せ合わせて関わり合うような対話の姿

11月22日授業の様子

本校の研究主題

児童が自ら課題を見出し、主体的・対話的に学ぶことができる国語科学習指導～“地域とつながる総合表現活動”を位置づけた単元づくりを通して～

故郷我孫子に誇りをもてる子どもの育成

学習に主体的に取り組み、頭を寄せ合わせて関わりあうような学びを通して、考えを広げたい深めたいする児童を目指す。

実社会・実生活に「生きてはたらく」表現力を育成する。

11月22日に、次世代型教育推進センター・県教育委員会・市教育委員会の主催による、本校の公開研究会が開かれました。3年間研究・研修を重ねた成果を授業展開と研究概要説明等で、公開しました。たくさんの参観者がいる中、各学年とにこにこ学級の子も達が、相手意識や目的意識をもち、授業に臨みました。教師が話し合う必要性を感じさせるような場面設定をした上で、一小学子が学習課題に向き合ったり、頭を寄せ合わせて意欲的に対話したりする姿をご覧いただきました。

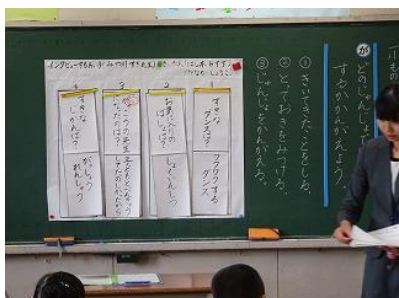
新たな学び：「何を学か」「どのように学か」「何ができるようになるか」・未来の創り手となるために必要な力を育てます。そのためには学習過程の質的改善が望まれます。

「主体的・対話的で深い学び」の取組が重要です。

1年生

【一小学ものしりはかせになろう！】

学校で働く人に興味をもち、二人組でインタビューした「とっておき」を2年生に伝える時の「順序」を考える。



2年生

【「町のすてき」をしようかしよう】

1年生に学区に興味をもってもらうために、自分たちが思い別で探検した町のよいことや秘密を伝える。「町のすてき」を4人グループで仲間分けし、おすすめを絞る。



3年生

【一小学の「大すき」が伝わる一言しようかい文を考えよう】

総合的な学習の時間で一小学の歴史を調べたり、講話を聞いたり、インタビューしたりして、今と昔の一小学を比較させ、変わったことと変わらず残っていることを考えさせる。自分たちが創立記念式典で伝える「一小学の大すき」を考え、わかりやすく伝える方法を考える。



4年生

【「手賀沼なるほど図かん」をプレゼントしよう】

1学期から手賀沼について自分の課題を追究してきた。今学期は、社会科において手賀沼の歴史を学んだ。市役所手賀沼課の方の話を聞いたり、船上見学したりして学んだことを整理し、3年生にわかりやすい「手賀沼なるほど図かん」を作る。



5年生

【「我孫子のよさをPRしよう】

総合的な学習の時間で「我孫子PR大使になろう」という課題を設定し追究してきた内容を、思い別の地域学習（見学・インタビュー）を通して更に深める。PR映像を撮影し、地域に発信する。（市役所・アビシルベ等）



6年生

【みんなで語ろう 誰もがいきいきとくらせる 夢いっぱい あびこプラン】

伝える相手が3年生から市長さんになる。視野を広げて我孫子の現状を把握し、魅力ある町にするための夢プランをパネルディスカッションをしながら考える。



にこにこ学級

【「てがぬま ふしぎ はっけん！！～パートII～】

6月に手賀沼に探検に行き、施設や自然とふれ合う中で興味を持ったことを追究し発表会を行った。更に意欲を高め二次探検に行き、「自分が調べたみんなの知らないこと」を可視化しながらクイズ形式で発表する。知識の関わり方を身に付ける。

